

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の方々の日常生活の様子をみながら、何を望んでおられるのかを考え、自分達は何が出来るか、どのようなホームが望ましいかをBS法を活用し、全体会議で話し合っって理念を作り上げた。それを当ホームの理念として意識づけをし、業務を行っている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	認知症になられても、その人らしく笑顔で生活できる日々を提供できるよう、管理者・職員個人も目標をたて、日々実践できるよう取り組んでいる。	○ 新人職員に対して、理念、目標が徹底できていない場合もあるので、職員全員が理念を実践できるようにしていきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	自治会の掃除に利用者の方が参加したり、ホームの行事やボランティアの方の催し物に、ご家庭や地域の方々もお誘いして、理解して頂けるようにしている。運営推進会議にも地域・家族の方の参加を得て、理念の理解を得るよう取り組んでいる。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日は、ほとんど散歩に出かけ、地域の方から声をかけていただいたり、花をいただいたりすることもある。地域の方の申し出により、ボランティアとしてお茶会等をしていただいている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会総会、掃除、自主防災勉強会、公民館、敬老会等に参加して、地域の方々との交流する機会を多くもてるように努めている。又、自治会長さんをお願いし、他にも参加できるものがないか常にお尋ねしている。去年は文化祭を開催し、地域の方々に参加いただいた。	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方々も高齢化しており、災害時にはどう自主防災したらよいか等を運営推進会議等を通して、話し合っている。地域の高齢者に行事へのお誘いをし、参加いただいている。	○	認知症についての理解の勉強会を、地域にお返しをする意味でも、今後開催していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前々回改善課題については、チェックシートを作成し、日常業務の中でもそれらの課題を確認し、日々実践している。玄関の施錠は継続取り組みとなっている。		玄関の施錠を開放できる体制が取れないか、検討していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	自治会長・班長・民生委員・日赤奉仕団・ご家族の代表の参加で開催した。前回よりの検案であった防災訓練を見学していただき、地域との協力体制等を確認し合い、ボランティアの導入について指導・助言を頂き、認知症について地域への啓蒙に尽力いただいている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険上のわからないこと等がある時は、GH担当の方に直接連絡をとるようにしている。	○	特に何もないと市に対して交流を持つことがないので、サービスの質の向上に向けて、今後交流を持っていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度についてGH協議会で講習を受けて理解を深め、職員にも全体会議にて共有している。実際に、地域権利擁護事業の制度を利用されている方がある。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会受講しようと申し込みを行っているが、定員オーバーで受けることが出来なかった。全体会議で勉強会を行った。	○	危険防止のためにしていることの中で虐待につながることはないか、具体的に話し合っていきたい。

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には、契約書を用い、わかりやすい言葉で説明し、不安や疑問を取り除くようにしている。又、退去にむけては、次の行先の情報を提示したり、家族と話し合いを持ち、理解と納得を得るようにしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見・苦情は、担当者、リーダー、管理者に報告し相談している。又、内容によっては、家族を交え説明し、対応している。玄関にご意見箱を設けている。傾聴ボランティアが週1回個人の方の話を聞いてくださり、その意見をケアに反映できるようにしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや行事参加の様子は、毎月の請求書・領収書と一緒に「おたより」としてホーム全体のもの、各担当者直筆を同封して送っている。お小遣いは各利用者毎に金銭出納帳をつけ、3ヶ月に一度来所時に説明し、同意を得て印をいただいている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームに対する意見は家族は来訪時に、苦情はホームの苦情担当者に話すことができる。ご意見箱は玄関口に設けている。出された苦情は組織としても受け止め、法人として審議するようにしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のユニット毎の会議やリーダー会議において、職員の意見を聞く機会を設けている。さらに介護部運営会議で運営者・管理者が会議をもち反映している。	○ 本年度は目標管理制度を導入したため、スタッフ、リーダー、管理者が個別の話し合いの機会がある。意見や提案も詳しく聞き、反映させていけると思われる。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務体制は確立しており、利用者の状況変化への対応は、時間外の場合は残業扱いとし、管理者が勤務調整をしている。又、花見等の外出行事の時は、人員を増やすなどして対応している。	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員については、適正を考慮している。、人事異動や離職については、管理者やスタッフの意見を聞き、利用者への影響を第一に考えている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は定期的開催され、勤務以外の職員は参加するようにしている。外部研修は出張扱いとしている。県各種機関主催の研修講習は、ほぼ毎月予定されている。又、自主的に研修・講習を受け、学びの機会をもつよう努めている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の他のGHと交流・研修する機会を得て、全スタッフが交代で参加し、当ホームでは体験できない介護の在り方を学んだ。また、会議や研修の場で他社職員と面識を持って、情報交換を行うようにしている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間は、ゆっくり休息できる場所を確保しており、仮眠することもできる。年1回の親睦会の旅行も実施され、ひとりでも多くの職員が参加できるように調整している。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種研修・講習の案内は全職員が情報を得ることができるよう回覧している。希望があれば参加できるよう考慮している。職員は個人目標を立て、達成できるように向上心を持って取り組んでいるようにしている。	○	目標管理の徹底化を行い、実践できるようにしていきたい。

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接では昔からの生活歴や、趣味、生活背景等を細かく聞き出すようにしている。実際にご自宅を訪問し、緊張されないよう配慮し、本人様の本心を聞きだせるように雰囲気作りをしている。担当のケアマネや医療ソーシャルワーカーより、情報を頂き、気付かない部分からも知るようになっている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまでには、何度も来訪され入所を罪悪と感じておられる家族様もおられる。その不安を取り除くためにも、何度も会う機会を作り、納得されて申し込まれるようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症対応の施設だとご存じなく来訪されたり、実際は入所まで考えておられなかったり、いろいろな介護保険の施設を理解したく訪問される方もあり、求めておられる思いを見極め、その都度ご説明させて頂いている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人に実際見学に来ていただくように促したり、ご希望される方には、お試しとして一週間ほど体験入居していただく事も行っている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理や掃除、洗濯等の家事を一緒にする事で、利用者の方々に色々な事を教えていただき、行事等を通し、喜びや感動を共有している。	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	年中行事などに参加して頂ける様に、ご家族に参加を募ったり、ご利用者の方の病院受診や散歩や外出にも、ご協力頂けるように声掛けを行っている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事などのイベントを通し、一緒に過ごして頂けるよう声掛けをし、また月に1度のお便りには担当からご本人の近況を伝える。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に、ご本人が昔から大切にされておられた物を持ってきて頂ける様に話したり、外出や外泊が行えるように声掛けをしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆様との輪の中に入りにくい方も、スタッフが間に入り声掛けをし、一緒に参加して頂ける様にしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご利用のサービスが終了しても、ホームに気軽に遊びに来られるように契約終了時には声を掛けています。	○	契約終了後、継続的に関わりを持っている方は少ない。入院されている方には見舞いに行くことはある。

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に事前面接にてご本人やご家族から背景をお聞きし、どのような暮らしをご希望か聞き取りを行っている。また入居してから知り得た情報を把握し、ご本人の希望を尊重できるよう努力している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前訪問にてご本人やご家族から生活歴や環境、馴染みの暮らし等をお聞きし、把握するようにしている。また、日々の暮らしの中でご本人から、今までの話を聞かせて頂いている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェック（排泄、食事、水分等）を実施し、一日の行動を観察してケース記録に記録している。スタッフ全員が目を通す事で、把握に努めている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族のご希望を第一にケアプランを作成している。また、ご本人ご家族参加のサービス担当者会議を3ヶ月に一度行い、新たなご希望や意見をお聞きし、ケアの向上に努めている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時に暫定プランを立て、その後1ヶ月、短期は3ヶ月で見直し、プランを立てている。また毎月のモニタリングをし、状況把握をして現状に合った介護計画を作成している。	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>日々の様子をケース記録に記入し、気付いた点、問題点があれば、ケアプラン作成時に見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>ご家が来訪され宿泊を希望された場合、和室に布団一式を用意し、お食事の提供もすぐに対応している。入院等で空室がある時は、体験ショートをご利用して頂くサービスを行っており、在宅でお困りの方へのご利用ができ、多機能性を生かした支援を行っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> <p>定期的にボランティアの方による詩吟や習字、お茶会、三味線等を導入し、日赤奉仕団の方には地域のいきいきサロンや活動の協力を得ている。また小学生、中学生の訪問や、北消防署の立ち合いで消防訓練を行っている。</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> <p>現在は行っていない。</p>	○	現在、対象者がおられないように思うが、今後必要に応じて行っていく事も考えていきたい。
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>運営推進会議を通し、情報交換し協働している。</p>		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年かかりつけ医として利用されていた医療機関を、入所後も受診・往診を継続し利用されおり、連携をとり、支援している。。ご家族の希望により、当法人の往診も行っている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医に受診し、様子を伝え、介護のあり方を相談したり、服薬についての指導を得るようにしている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ご利用者様の体調に何か異変があれば、併設しているデイの看護師に相談したり、かかりつけ医のドクターに状態を伝えて指示を仰ぐようにしている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には安心して治療が受けられるように介護サマリーを提供しまた早期退院に向け医療相談室や病院関係者と常に情報交換するとともに日ごろからも連携が取れるようにしている。、		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応は当ホームでは行っていないことは契約時に説明している。重度化した場合はご家族と相談し、次の手立てを相談し、他の施設への入所への申込みをしていただいている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の対応は当ホームでは行っていないことは契約時に説明している。重度化した場合はご家族と相談し、次の手立てを相談し、他の施設への入所への申込みをしていただいている。		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>事前面接の中で、ご本人やご家族との話し合いの場を持つ。昔馴染みの物や家具などを持参いただき、ご自宅に近い空間作りに努めている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>その方の尊厳を大切にした言葉かけや対応をしている。ケース記録等はスタッフルームにて保管している。他の入居者名はイニシャルにて記録している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>何か援助を行う時には、まず声掛けにて伺いをしてから、了承を得て行っている。選択できるように言葉かけ説明をし、ご本人の自己決定を尊重している。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の大まかな日課は決めてあるが、基本的にはその方のペースで生活して頂いている。起床や食事・入浴等はその方の希望に沿った時間で生活されている。また外出希望がある時にはスタッフがつきそい、外に出掛けられるように支援している。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>お気に入りの化粧品を購入されたり、馴染みの美容院にご家族と共に出かけられたりとそれぞれの個別の支援をしている。</p>	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で金銭管理をされるご利用者には、財布を持って頂いている。喫茶店や買い物等では、ご本人から支払いをして頂いている。	○	金銭管理できる方はごく一部の方に限られているので、ほとんどがホームでお預かりしている。しかし、できる方には出掛ける時にお金を渡し、支払い等をご自分でできるようにしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、近くの公園や買い物、喫茶店、ホーム周辺の散歩などに出掛けている。ご本人の希望にそって外出できるよう支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	花見や、菊花展等、ご家族と一緒に外出される機会を作っている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	娘様と絵手紙の交換をされたり、電話をかけたいと希望されれば、ご本人に受話器をお渡しし、かけて頂いている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	遠方のご利用者の娘様がホームに宿泊される時には、お食事や入浴をして頂き、居心地良く過ごして頂けるよう、工夫している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束につながることは何かを学ぶ機会を持ち、身体拘束をしないケアを行っている。		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>新入職員への応急手当や初期対応の訓練を実施していきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>サービス担当者会議などにご家族も参加しての話し合いの場を設け、起こりうる事を話し合い、対応策を検討している。危険物の除去、転倒危険のリスクなどを話し合っている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝、バイタルチェックを行い、一日の行動の中にも変化がないか観察を行い対応している。痛みや熱感等の訴えがあれば、すぐに対処している。また訴えられない方には、入浴時等に身体に何か異変が見られた場合、いつできたものか、スタッフ同士確認し、その原因を追求するようにしている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>スタッフ全員で処方箋を見直し、薬の飲み忘れがないよう確認し支援している。服薬時には必ず手にのせ、服用終了まで見守り、確認している。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>日頃より水分補給をこまめに行い、運動不足にならないようにしている。水分を摂取されたら、その都度、排泄チェック表に記入し、どれだけ摂れているか確認している。また天気の良い日には外に散歩に出掛けるよう心がけている。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食前にはうがいをさせていただき、毎食後は洗面所にて口腔ケアをして頂いている。できる限り本人で行っていただいている。援助が必要な方は援助している。また義歯は夜間お預かりし、洗浄剤で清潔を保っている。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事と水分摂取量を記録し、水分はできる限り摂っていただくよう、10時のコーヒータイムには、コーヒーを飲んでいただいた後、おやつとお茶を提供している。</p>	

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎食前にイソジンガーグルでうがいと手洗いをして頂いている。毎食前には速乾性アルコールで手指の消毒を行っている。インフルエンザの予防接種を行っている。感染マニュアルを作成している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材が業者より届いたら、鮮度を確認し、すぐ冷蔵庫に入れている。週に2回まな板漂白をしている。肉と野菜用のまな板の区別をしている。調理器具や茶碗、はし、おわん、湯のみなどの食器は熱処理後片付けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出入りしやすい環境作りとして、玄関周囲に物を置かないようにし、動きやすい環境づくりをしている。また閉鎖的にならないよう、草花を植え、庭木の手入れもしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った掲示物をご利用者スタッフと共に作成している。昔の歌などをテープやCDから流し、居心地良く過ごして頂ける様に努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーの椅子の配置を考え、ソファーにて隣同士で仲良く話せる場作りをしている。		

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 福光グリーンホーム（さるびあ）

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の生活の中で、できる限りご利用者に声をかけ、できることは一緒になって行っていただくようにしています。居室の掃除機かけ、洗濯干しやたたみ、調理の野菜切り、もやしの根とり、盛り付け、食材の日付書き等、ご利用者の方々も習慣となっておられ、進んで手伝っていただいております。また、計算ドリルや漢字ドリルは「頭の体操やで」と毎日取り組む方や、理学療法士の指示の個別リハビリは毎日全員が頑張っておられます。その他、風船バレーや各種ゲーム等も提供し、楽しいレクリエーションも積極的に楽しんでいただき、笑顔に満ちたメリハリのある生活を送っていただけるように取り組んでいます。